



相ノ木っ子だより



令和3年度
6月号
上市町立
相ノ木小学校

大きくなあれ～植物を育てながら～



「校長先生、見て。わたしの葉っぱ、7枚だよ」

出てきた葉の枚数を数えたり大きさを確認したりしながら、1年生がアサガオにたっぷり水やりをしています。うれしそうに日々成長しているアサガオの世話をし、真剣にその変化を観察しています。また、美化委員のみなさんは、ベゴニア、日日草、サルビア、ペチュニア等、にじいろ花壇に植えたたくさんの花々を育てています。天候や土の状況に応じて、水やりや花摘み等を工夫して行っています。さらに、3年生が植え替えたヒマワリにたっぷり水をあげています。これらは、毎朝登校後に見られる児童玄関の様子です。1・3年生も美化委員も、植物の健やかな成長を願い、率先してお世話をしています。

その他にも、2年生は自分で用意した野菜の苗を相撲場花道横の教材園に植え、世話を続けています。その傍では、6年生がネギやスイカを育てています。また、各教室のベランダでは、4年生はヘチマ、5年生はインゲンマメを育てていて、ある程度成長したら、それぞれの教材園に植え替え、もっともっと大きくしていきます。さらに、農業に貪欲な6年生は、学校から少し離れた吉岡さんの畑を借り、広く3畝を耕し、3種類のサツマイモを育てています。順調に育ちますと、ものすごい量のサツマイモの収穫が見込めます。

このように、全校みんながそれぞれ植物や作物を育てています。生活科における気付きの質の向上、理科における科学的な追究、委員会における環境美化活動、学級活動における勤労的体験等、植物を育てる目的に違いはありますが、冒頭の姿のようにどの学年も植物や作物を優しい目で見つめ、丁寧に手をかけています。こういった活動は、子供たちの心の育ちに必要なものであり、子供たちの成長にとってとても重要な意味をもってくると考えます。小学校生活において、栽培活動や農耕体験を十分味わうことで、花々を愛でる心、汗して世話することを厭わない心、植物の成長や農作物の収穫を喜ぶ心等、たくさんの気持ちを子供たちは抱くことができるのです。

これは、我々大人も同様のことが言えるわけで、リビングや玄関に花を飾ることはもちろんですが、ちょうど今の時期、どこの家でも花壇やプランターに自分たちの好む花苗を植えたり、ちょっとした畑にやがて収穫して食したい野菜苗を植えたりしています。ホームセンターや大型の園芸店等に行きますと、苗や土、肥料等を買求める人でたいへんにぎわっています。前述の気持ちを味わえることを知っているし、その心地よさを感じたいがために、どの家庭でも率先して園芸を行っているのでしょうか。おそらく、農耕民族である日本人のDNAが一人一人に組み込まれているからでもあり、わたしたちは自然とそういう育ちになっていくものなのかもしれません。それでも、単に学習の一環として植物を世話するだけでなく、気持ちや感動を大事にしながら植物と接し、より濃密に植物を育てる体験を子供たちにしてもらうことで、しっかりとした心の醸成を図っていくことができるでしょう。そして、その他の生物や自然の美しさや生命の神秘、それらへの畏敬の念といったものをさらに育んでいくものと考えます。

アメリカの生物学者レイチェル・カーソンは次のように言っています。

地球の美しさについて深く思いをめぐらせる人は、
生命の終わりの瞬間まで、
生き生きとした精神力をもち続けることができるでしょう。



子供たちが成長していく中で、生涯にわたって植物に関心を持ち、それらに安らぎをもてる人であってほしいですし、植物等の生命力に感化されながら、生き生きとした人生を歩んでいってほしいものです。

相ノ木っ子のみんな、これから花や野菜をさらに大きく育てて、植物たちの力強さ、たくましさをしっかりと見つめていきましょうね。

もっと知りたいな、もっとやってみたいな

今月14日から1週間「自主学習がんばり週間」を行います。昨年度までは、段階ごとの家庭学習のコースから自分で選んで重点的に取り組む「ノー・メディア・ウィーク」を学期に1度設けてきました。テレビやゲームをできるだけ控え、宿題プラスαの部分を意識しながらじっくりと家庭学習に取り組むことで、学習習慣の定着や家族との対話の増加等、子供たちの生活習慣の向上に一定の効果上げてきました。ですが、今年度から一人一台端末機を導入し、家庭においてもメディア等も活用しながら幅広く家庭学習を行っていくことになるため、「ノー・メディア・ウィーク」というネーミングを見直し、新たに「自主学習がんばり週間」として取り組んでいくことにしました。

これまでも、自主学習ノートを使いながら、子供たちはさらに伸ばしたいこと、自分の興味・関心のあるものに取り組んできています。ですが、その発展的な学習は、個人差や学年差が小さくなく、相ノ木っ子みんなの取組とまではいかない面もみられます。今年度当初、子供たちに投げかけた目標「自分にこだわる」「自分らしさを追究する」を鑑みて、どの子も「自分の学び」というものを見つけ、確立していくことを期待しています。今回設定した「自主学習がんばり週間」が、自分の学びと呼べるものはどんなものなのかを捉えていくよい機会にしてほしいものです。

とは言え、基本となるのは学校から出される課題、いわゆる宿題に前向きに取り組むことであり、特に低学年においては、家庭学習の習慣化をきちんと図っていくことが大切になります。ですので、これまで同様にテレビやゲームといった楽しみをちょっと我慢し、自分の家庭学習をきちんと行っていけることがまず肝心です。そしてさらに、自分がもっと知りたいこと、もっとやってみたいことは何かを考えていくようにし、思い浮かんだことをまずはトライしてほしいと思います。端末機を活用したり、家庭で体験したりしながら、多面的な学習への広がり、自主学習の充実が図られることで、きっと自分が究めていきたい学び、突き詰めていきたい学びを得ることができるようになってくるのではないのでしょうか。

次の言葉は、あるポスターに書かれたコピーライター谷野栄治さんの言葉です。

もっと知りたいと思う子は、
それを勉強とは考えない。

その通りだと思います。国語科や社会科の学習内容であっても、もっと知りたい、やってみたいと考えるようになった段階で、その子にとってはもはや勉強ではなく、趣味のようなものになってしまうのです。そういう心持ちに子供たちをしてあげることが、大事なんですよね。

また、作家の落合恵子さんは次のように言っています。

勉強は、しなさいと言われてするものではなく、
したくなった時初めて意味をもつものだ。



これは、わたしたちも実感するところではないのでしょうか。先生や親から言われて嫌々やった勉強は、身に付くまでに本当に時間のかかるものです。やってみたいと思ったときは、すんなり体に入ってくるのですが…。また、いやいややっていた勉強も、意味をもってくるようになることもあるんですよ。自分にとって意味のある学びを子供たちにたくさんしてほしいですね。

行事予定(6月中旬～7月中旬)

6月14日(月)	自主学習がんばり週間(～6/18)	6月23日(水)	5・6年校外学習(沢登り)
15日(火)	プール清掃	29日(火)	プール開き
17日(木)	4年ふるさと学習 (おおかみこどもの花の家)	7月 7日(水)	5年ふるさと学習(下田金山)
18日(金)	学習参観 親子下校 15:15	8日(木)	団体鑑賞

